

維持ですか？破棄ですか？

(映画「第九条」上映会&ディスカッション報告)

世界情勢の緊張感の高まりを背景に、日本の防衛政策が大転換されようとしています。今こそ共に語り合いたいと、映画「第九条」の上映会&ディスカッションを緊急企画しました。

映画の舞台は、憲法改正にあたり、国民の意見を聞くために政府が設置した諮問委員会。無作為抽出で選ばれた20代の若者12人が、第九条の**維持か破棄か**をめぐり、全員意見が一致するまで、ひたすら議論します。その結論はいかにー？

上映後のディスカッションでは「おかれた立場やその時の状況で人は動いてしまうもの。だからこそ普段から自分に問い続け、**自分の頭**で考え、**人と違う意見**であってもそれを言えるようになること、そして多様な意見の人が**話し合える場**が必要」という意見に集約されました。それを日々実践しながら、またこのような対話の場をつくっていきたいと思います。



多摩平中央公園地区センター(市立病院裏)が4月よりリニューアルオープン!

市民の想いをカタチに (2023年度予算審議より)

今回は国保・介護・病院などの特別会計の委員会に属しました。市民の方より「時間がかかる」とご意見をいただいた**介護認定の調査期間**についての質問では、日野市は調査件数が26市で7番目に多く、都内平均の37日に対し、42日かかっていること、その改善策として、**個人委託の調査員**を7名増員したことが確認できました。期間短縮に期待できます。

また、保育園や幼稚園バスでの**園児置き去り**を防止する装置(センサーなど)、保育園で**使用済みのオムツを持ち帰らずに済む補助**が補正で予算がつきました。

厳しい財政状況のもと、十分とは言えないながらも、市民の想いをカタチにする努力は感じ取ることができました。(賛成)

子どもも保護者も安心して通える施設を

市内保育園で起きた保育士(当時)による虐待行為、その衝撃と影響は大きなものです。園は事実を認めず、改善する様子もないため、市はさらに踏み込んだ対応をすすめています。

子どもが育つ環境に、決してあってはならないことです。一方、保育士不足、過酷な労働環境も遠因といわれています。「**保育士の配置基準引き上げ**」等を国に求める意見書提出の請願は採択されたものの、意見書提出は全議員一致が条件のため、最大会派の反対で叶いませんでした。

また継続審議となっていた「市立第四幼稚園の閉園計画(素案)の見直し」を求める請願(署名数12000筆以上)は、採択を主張したものの、議会では不採択。残念でなりません。とはいえ、新たに立ち上がった「**幼児教育・保育の在り方検討委員会**」での議論をふまえ、計画は修正されるとのことですから、市民の願いに応える展開に希望をつなぎます。

